

伊賀再発見

三重大学伊賀連携フィールド

特別講座

忍術学 in Tokyo



日時・場所

2018.6/23(土) 13:00~15:00

三重テラス

浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」2F
東京都中央区日本橋室町2-4-1 / 東京メトロ銀座線「三越前駅」A9出口すぐ

第一部 / 講演
13:00~14:00

吉丸雄哉
(三重大学)

アナログ忍者ゲームの愉しみ

アナログゲームは近年ボードゲームを中心に静かなブームを迎えています。国内外のボードゲーム、パーティーゲーム、テーブルトークRPG、カードゲーム、ゲームブック、ミニチュアゲーム、シミュレーションゲームに忍者は登場し大活躍します。アナログ忍者ゲームの名品・珍品、その奥深い魅力を紹介します。

第二部 / 対談
14:00~15:00

友野詳×吉丸雄哉
(グループSNE) (三重大学/聞き手)

忍者とアナログゲーム かけ算すると!?

アナログゲームのなかで、忍者がどのように抽象化・ルール化されているのか、またゲーム内の物語・世界でいったい忍者がどのように描かれているのかなど、アナログゲームにおける忍者についての専門的な分析を、忍者小説の作家でもあり、アナログゲームの達人である友野詳さんに存分にうかがいます。



吉丸雄哉

(よしまるかつや)
1973年生。三重大学人文学部准教授。主著に「武器で読む八犬伝」・「武亭三馬とその周辺」、編著に「忍者文芸研究読本」・「忍者の誕生」など。小説・演劇資料などフィクションの面から忍者像とその成立過程を研究する。

友野詳

(とものしょう)
1964年生まれ。クリエイター集団、グループSNEに所属。小説家とアナログゲームのデザイナーを両輪として1990年から執筆活動を続ける。ファンタジー、ホラー、時代小説、児童書などで活躍。忍者と妖怪と怪獣(とヒーロー)で魂が構成されている。

経歴

事前申し込み制
60名先着順

申込期間

5月14日(月)~ 期間延長受付中

入場無料

申し込み
問い合わせ



三重大学

三重大学人文学部チーム 総務担当
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL:059-231-6991 FAX:059-231-9198
E-mail info-hum@ab.mie-u.ac.jp